

第5号様式（第6条関係）

北の台中学校 学校運営協議会会議録

会議の名称	第3回 北の台中学校 学校運営協議会		
開催日	令和6年3月5日（火）		
開催時間	16時00分 ～ 17時00分		
開催場所	北の台中学校 図書室		
議長	教頭		
出席者	会長、コーディネーター、校長、教頭、総括教諭（5名）		
傍聴の可否	可	傍聴者数	2
会議の内容			
<p>【議題】</p> <p>1. 開会</p> <p>2. 会長挨拶</p> <p>3. 校長挨拶</p> <p>4. 議事</p> <p style="padding-left: 20px;">○ 学校評価報告書について</p> <p style="padding-left: 20px;">○ 具体的な取組について</p> <p>5. その他</p> <p>6. 閉会</p>			
<p>【主な意見・決定事項など】</p> <p>4. 議事</p> <p>○ 学校評価報告書について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度から学校評価報告書はホームページに掲載される。 <p>[質問]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の点検整備について。今年度、学校内の工事が多かったと思うが、車両や工事をする業者が入ることについて、生徒の安全をどのように確保していたか。→生徒の通学時間帯を避けたり、夏休み中に工事を実施したりするよう、工事に係る業者と事前打ち合わせを行った。授業を騒音が邪魔しないように、時間をずらすなどの配慮も行った。 ・今年度から、欠席連絡が学校情報配信システム（C4th）で行えるようになったが、運用してみたのメリット等を知りたい。→保護者の方が欠席連絡を入れることのできる時間の幅を広げることができた。また、電話での欠席連絡も受け付けているため、生徒本人やご家庭の状況によっては電話での連絡を活用している場合もある。 			

○具体的な取組について

第2回で挙げた「基礎学力の定着」「基礎体力の向上」「人との関わりを楽しむ力」についての具体的な取組を、次年度実際に行うための検討。

[基本的な方向性]

- ・具体的に地域を動かす際には学校運営協議会委員が中心となって動かしていく。
- ・実際に動かしていくために色々な課題については、その都度窓口の教頭と相談していく。
- ・小さな規模から始め、課題を見つけ、対応していく。始めないとわからないこともある。

①基礎学力の定着

内容：学習会の開催

人材：元教員の方、大学生の方など協力してもらえそうな方が見つかった。

場所：自治会館等

→地区センターが改修工事中のため使用できない。

→代替施設としては、自治会館、ふれあいの家がある。

対象：中学1年生くらい。小学校程度の学習の学び直し。

その他：

- ・知らない人に勉強を教えてもらうのはハードルが高い。
- ・イベントなどで、顔見知りになってから、学習会につなげていけると良いのではないか。
- ・最初は教員なども参加し、顔合わせのような機会があると良い。

②基礎体力の向上

内容：ニュースポーツのイベント実施

人材：スポーツ推進委員の方。ニュースポーツの道具の貸し出しに協力していただける。

場所：北の台中学校体育館

時期：6～7月が自治会にとっては時間を作りやすい。体育館の日程調整が必要となる。

対象：できれば普段運動していない生徒にも参加して欲しい。

その他：

- ・部活動が土日どちらか1日、3時間程度の活動となるため、土日どちらか半日程度であれば、調整しやすい。
- ・学校運営協議会委員が中心となり調整し、実行委員会を立ち上げ、学校と日程調整等を行う。
- ・イベントに学習会に協力して頂ける方にも参加してもらい、顔合わせができるようにする。
- ・次年度、夏休み中に教員全員が参加する学校運営協議会を行う予定であるため、その場で、教員もニュースポーツに触れる機会を持てれば、生徒たちにもアナウンスしやすいのではないか。

③人との関わりを楽しむ力（地域交流）

- ・「コミスクだより」の活用（コーディネーターが作成）
- ・生徒会本部役員が自治会と話をする機会を設ける。
- ・中学2年生の総合的な学習の時間のテーマが「地域」になる。
→「地域の方の困りごとを解決する」という方向での活動。
→自治会の方にも協力して頂く。（インタビューなど）

7. 閉会

【配付資料】

なし

次回開催予定

未定